

「夏休み お仕事体験 in 中電工」の開催について

標記について、下記のとおり実施しますので、お知らせします。

記

1. 目 的 女子中高生に「危険の疑似体験」や「高所作業車試乗体験」などをしていただくことにより、少しでも「建設業で働く技術者の仕事」を理解していただければとの思いから、このたび「夏休みお仕事体験 in 中電工」を実施いたします。

なお、当社は、内閣府が取り組む理工系分野に興味がある女子中高生への進路選択を応援する取組み「理工チャレンジ（リコチャレ）」と連携して、技術者等の仕事に対する理解の促進を図る活動を行っております。

2. 「夏休み お仕事体験 in 中電工」について

①日 時 平成27年8月5日（水）13時30分～16時30分

②場 所 株式会社中電工本店および研修所

本 店：広島市中区小網町6番12号

研修所：広島市安佐南区伴東六丁目3番1号

③内 容

時間	内容	場所
13時30分～14時00分	事前説明	本店
14時00分～14時30分	本店から研修所へ移動	—
14時30分～15時00分	高所作業車試乗体験	研修所
15時00分～16時00分	当社安全実習棟の体験・見学 (危険の疑似体験等)	
16時00分～16時30分	研修所から本店へ移動	—

④参加者 若干名（女子中高生）



高所作業車試乗体験の様子

3. 添付書類

安全実習棟パンフレット

以 上

体感実習 1日のスケジュール (定員:約20名)

場所	実習内容	所要時間
1F	展示スペースで、安全年表等の展示物の説明	約 5分
	講義室で、安全に関する事項及び体感実習概要の説明	約15分
	①ボルトの切断体験	約30分
	②落下物衝撃体験	約25分
	③④ワイヤー挟まれ体験/再現 ⑤機械装置挟まれ再現	約35分
	休憩	約10分
	⑥柱上ぶら下がり再現	約15分
	⑦墜落体験	約25分
	⑧ぶら下がり体験	約30分
	⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	約40分
2F	⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲	約60分
	⑲	約35分
	⑲	約20分
	⑲	約10分
	⑲	約20分
	⑲	約10分
	⑲	約10分
	⑲	約10分
	⑲	約30分
	⑲	約30分
1F	⑲	約15分
	講義室で、まとめ(説明)・質問受け、アンケート等	約10分

体感実習

体感実習コースは、1日・半日コースなど、ご希望時間に合わせて体感項目を選択することができます。

1日コースの場合は、
 ◎体験は全員が体験し、再現は全員が見学するものとします。
 ◎休憩(昼休憩、小休憩)を除き、教育所要時間は、7時間～7.5時間程度です。

お問い合わせ・お申し込み



株式会社 中電工 研修所 広島市安佐南区伴東六丁目3番1号
 Tel 082-848-9011 Fax 082-848-9020
 Mail kenshusho@chudenkeno.co.jp URL www.chudenkeno.co.jp
◎FaxまたはMailでお申し込みの場合は、会社名(学校名)、希望日時、参加人数、連絡先(住所・電話番号・代表者名)を所定用紙に記入の上、ご送付ください。



安全意識を高めるために、
 「危険」を体感する。



安全実習棟



中電工 研修所 安全実習棟のご紹介



2階建ての実習棟内で、実際に起こりうる様々な危険を再現・体験。



1F [展示スペース]

中電工の歩みと、これまで発生した事故を写真と記事で紹介。



2F [講義室]

約20人が収容できる講義室。体験学習の概要を説明します。



4



17



9

指先が
ビリビリする感覚を
乾湿の差で
体験!

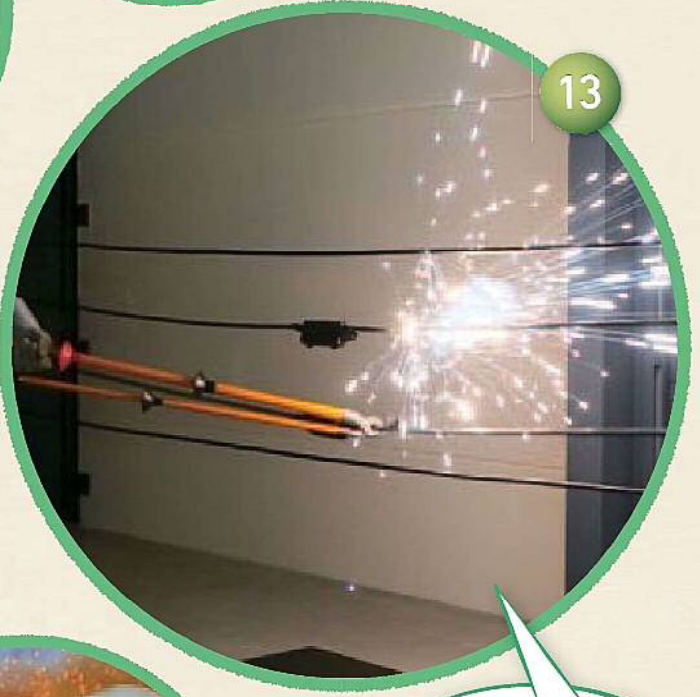
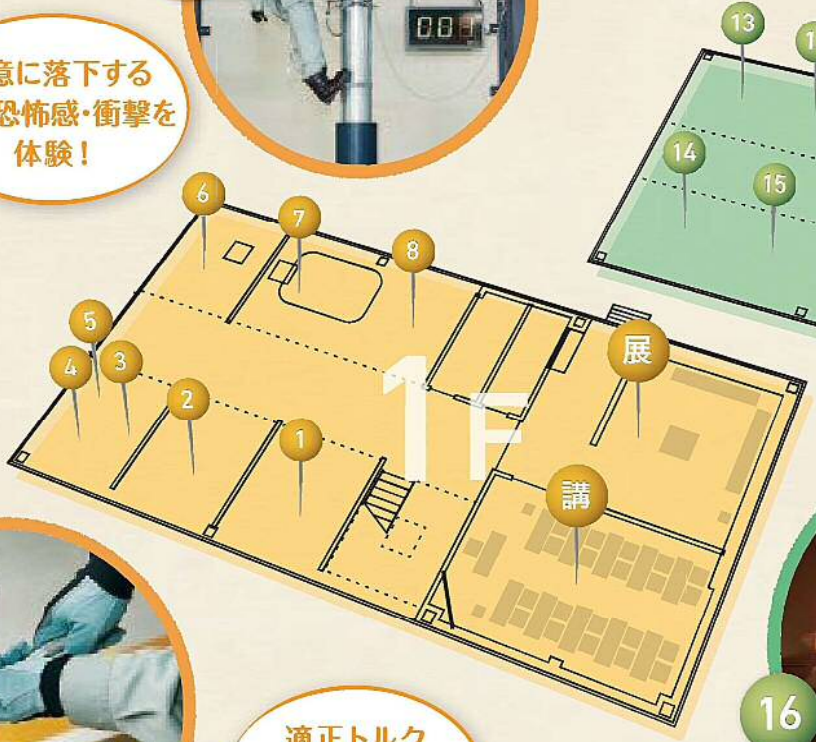


7

不意に落下する
際の恐怖感・衝撃を
体験!



6



13

線間短絡(ショート)
と同時に、
音と火花が発生!



1

適正トルク
および捻じ切れの
感覚を体験!



16



10

アーク発生の瞬間、
火花と炎で燃焼!

1F [展示スペース]
中電工の歩みと、これまで発生した事故を写真と記事で紹介。

2F [講義室]
約20人が収容できる講義室。体験学習の概要を説明します。

- ① [ボルトの切断体験] 六角ボルトを適正トルクで締めた場合と捻じ切れるまで締めた場合を体験。
- ② [落下物衝撃体験] 高さ約2mの位置から約100gのボルトを安全帽頂点に落下。落下物に対する危険感受性を高め、安全帽装着の重要性を再認識。
- ③④ [ワイヤー挟まれ体験/再現] 玉掛けワイヤーと吊下げドラム缶(軽)の間に指を挟ませ痛みを体験。また、吊下げドラム缶(重)の間に模擬指を挟ませ、その状況を再現。
- ⑤ [機械装置挟まれ再現] ④と同様に油圧式圧着工具に模擬指を挟み危険感受性を向上。
- ⑥ [柱上ぶら下がり再現] 補助ロープを柱高約2mに取り付けた人形を落とし、衝撃の受け方を確認。正しい補助ロープの取付位置を認識。
- ⑦ [墜落体験] 柱高約1mの位置から後ろ向きに転落。不意に落下する際の恐怖感や地表衝突時の衝撃を体験し、墜落に関する危険感受性を深める。
- ⑧ [ぶら下がり体験] 柱上安全帯を装着して1本吊りの状態でのぶら下がりを実施。装着位置の違いによる腹部への圧迫感の違いを認識。
- ⑨ [低圧感電体験] 乾湿両状態の指を受電部に触れ、電圧を変えながら感覚の違いを認識。不注意や装具不良時等の感電への危険感受性を深める。
- ⑩ [低圧計器短絡再現] 短絡させた計器の前に人形を立たせ、短絡(ショート)に伴うアーク発生状況等を再現。防具や作業位置等の重要性を認識。
- ⑪ [低圧充電線路短絡体験] 充電引込線をペンチで切断し、短絡(ショート)に伴うアークの状況を体験。正しい作業要領を再認識。
- ⑫ [引込線被覆損傷再現] 被覆損傷させた引込線を湿潤させたあと感電させ、火、光を再現。
- ⑬ [低圧線間短絡再現] 充電低圧線路を線間短絡(ショート)させ、音、光、火を再現し危険を実感。
- ⑭ [高圧感電再現] 人形を高圧充電線に接触させ、感電した際の音・光を再現して危険を実感。高圧感電に対する危険感受性を深める。
- ⑮ [絶縁破壊再現] 絶縁不良を作為した間接活線工具を高圧部に接触し、絶縁破壊状況(火花等)を再現。
- ⑯ [高圧線間短絡再現] 湿潤させた高圧充電線が線間短絡(ショート)した際の音、光、火を再現して、高圧線間短絡(ショート)に対する危険感受性を深める。
- ⑰ [梯子の横(縦)すべり体験] 体験者を梯子に昇らせ、梯子の横滑り及び縦滑りの状況を作為。不意にすべる際の恐怖感を体験。
- ⑱ [脚立の開き(横)倒れ体験] 体験者を脚立に昇らせ、脚立の開き倒れ及び横倒れの状況を作為。不意に倒れる際の恐怖感を体験。
- ⑲ [地上への落下再現] 2階から人形を墜落。墜落状況と地上激突時の衝撃を再現し、高所作業の安全処置の重要性を再認識。
- ⑳～㉓ [交通安全] 運転・歩行能力診断器・運転シミュレータ等により、体験、診断を実施。運転能力の低い部分を自覚し、運転事故防止を図る。